

＜社会への貢献意識＞ 社会への貢献意識は高まっており、特に地域活動を通じて社会に貢献したいと考えている人が多い。しかしながら、実際の参加については、時間的制約に加え、地域活動に関する情報不足、身近に魅力的な活動が存在しないことなどから、活動につながっていない。

### 社会貢献意識の推移

	(1977)		(2007)
○社会のために役立ちたいと思っている	<u>45.2%</u>	→	<u>62.6%</u>

(内閣府「社会意識に関する世論調査」より)

### 社会のために役立ちたい内容

○自然・環境保護に関する活動	37.9%
○社会福祉に関する活動	35.8%
○町内会などの地域活動	35.0%

(内閣府「社会意識に関する世論調査」(2007年)より)

### NPOやボランティアへの参加状況

○今後は参加したい 51.6%

(内閣府「国民生活選好度調査」(2003年)より)

### NPOやボランティア、地域の活動に参加しない理由

○活動する時間がないこと	35.9%
○参加するきっかけが得られないこと	14.2%
○身近に団体や活動内容に関する情報がないこと	11.1%
○身近に参加したいと思う適当な活動や共感する団体がないこと	6.6%

(内閣府「国民生活選好度調査」(2003年)より)